

上尾市市民活動支援センター情報紙



むすびん

令和2年
10月
第38号

〒362-0075 上尾市柏座一丁目1番15号

TEL : 048-778-1810 FAX : 048-778-1820 E-mail : s53500@city.ageo.lg.jp

今、私たちにできること！ ～コロナ禍の中でできる支援のかたち～

秋になっても終息の兆しが見えない新型コロナウイルスの影響で、多くの市民活動団体が活動を休止せざるを得ない状況が続いています。こんな時だからこそ、工夫したり、知恵を働かせたりして、新しい生活様式に伴い変化しながら活動を始めた団体があります。今号では、そうした団体をいくつかご紹介します。

★3月下旬と4月上旬、**ReVA(リーヴァ)復興ボランティアチーム・上尾**(以下ReVA)が、コロナ禍の最前線で立ち向かう医療従事者を救うプロジェクト【「最前線にマスクと防護服を」実行委員会】(岩手県陸前高田市)に賛同し、N95マスクや防護服等を寄付しました。ReVAは東日本大震災をきっかけに発足した災害ボランティアチームで、備蓄していた物資の中には、マスクやゴム手袋だけでなく、医療用防護服も多数ありました。その他の支援(N95マスクなど)も合わせ、この実行委員会に寄付をすることで、全国各地の医療機関に届けられました。

★その後、埼玉県でも感染者が増え、緊急事態宣言が発令されてからは、地元上尾の医療機関や福祉施設等を支援したいと考えた有志が、「**上尾市おすそわけマスクバンクプロジェクト**」【おすそわけマスクバンク**実行委員会**】を立ち上げました。SNSや商工会議所の広報誌を通じ、不織布マスクやN95マスク、フェイスシールド、ゴム手袋などの募集をしたところ数多くのご協力があり、市内の医療機関に2回、福祉施設に1回お届けしました。

★介護をしている方の支援、**介護者サロン「ひとやすみ」**は時間を短縮して再開します。大切な人を介護している「あなた」もホッとできる場が必要です。10月から毎月第3金曜、13時30分～14時30分、市民活動支援センターにて。



★愛媛県から始まった「シトラスリボンプロジェクト」が上尾でも「**シトラスリボンプロジェクトinさいたま**」として発足しました。この活動は、「地域」「家庭」「職場(学校)」を象徴する3つの輪をかたどったシトラス色のリボンを身につけ、コロナ感染者や医療従事者らへの偏見や差別のない、優しいまちづくりをしていこうというものです。新しい生活様式の中で、誰もが地域の中で笑顔で暮らせる未来を目指します。

市民活動体験教室「はじめの一步」で、「シトラスリボンを作ろう」講座を開催します。詳しくは、3面をご覧ください。

★**彩の子ネットワーク**は毎月開催していた子ども服交歓会を、感染防止のためお休みしていました。新型コロナウイルスの影響で大変になっている方が対象の「**子ども服お届けプロジェクト**」を8月に開始。20件以上の申込みがあり、緊急度合を聞きながら順番に発送しました。10月31日(土)、11月1日(日)に、感染防止に配慮した子ども服交歓会を開催する予定です。また、Zoomを使った子育てサロンや手遊び、相談など、新たな支援も模索中です。こうした取り組みが、厚生労働省「**感染防止に配慮したつながり支援等の事例集**」に掲載されました。



【シトラスリボン】



【お届けプロジェクト】

協働のまちづくり通信

令和2年度上尾市協働のまちづくり推進事業に採択された「上尾地域リハビリテーションネットワーク」の『いつまでも元気な高齢者を目指す～体操で繋がろう！～』の取り組みや、進捗状況をご紹介します。

この事業は、コロナ禍によって、アッピー元気体操をはじめこれまでの高齢者の活動の場が休止・中断されている状況で、地域で働くリハビリの専門職が、今できる形での介護予防体操を提供していこうというものです。

コロナの感染を3つの段階に分け、それぞれの段階にあった事業を展開します。（協働先：高齢介護課）

第1段階：流行期…人との接触を避け、自宅で行う時期

第2段階：移行期…感染対策を十分することで、外に出て人と接触することへの不安が少し軽減する時期

第3段階：安定期…3密を回避しながら今まで通りの事業が開催できる時期

現在(10月)は、新型コロナウイルス感染症の終息が見えてこない状況なので、「第1段階：流行期」の取り組みを行っています。

大石東地域包括支援センターと連携して、大石東地域のアッピー元気体操の会場3カ所(井戸木記念会館・みついホール・泉台記念会館)で、感染対策を十分に行いながら、自宅のできる介護予防体操を紹介したパンフレットを配布する予定です。このパンフレットには、独自に制作した介護予防体操のYouTube動画にアクセスできるQRコードが付いていて、スマートフォンなどで動画を見ながら介護予防体操をすることができるほか、運動や生活行動を毎日記録できるチェックシートも掲載されています。

このほか、コロナ禍で中断していた男性限定の「メンズ健康教室」(会場：西上尾第二団地集会所)も、人数を制限して10月から再開しています。



【スタッフ打合せの様子】



【配布予定のパンフレット】



【動画撮影の様子】

予告

令和2年度 地域デビュー支援事業

「暮らすのが楽しいまちづくり」は1月30日に開催します

講師：森まゆみさん（作家／「谷根千」の愛称で親しまれ「下町」ブームのきっかけとなった地域雑誌「谷中・根津・千駄木」の創刊者）

日時：令和3年1月30日(土) 13時30分～16時

場所：上尾市文化センター 中ホール 参加費：無料

※申し込み方法などの詳細は、広報あげお12月号などでお知らせします。

※新型コロナウイルス感染予防対策のため、今年度は活動団体パネル展や活動紹介は行わず、講演のみの開催とします。





上尾紙ヒコーキクラブ

設立 平成28年1月
 会員数 5人
 代表 中川 敬晶さん
 連絡先 090-1259-5593 (平井さん)



上尾紙ヒコーキクラブは、平成28年に会員5人でスタートしました。大谷公民館で、偶数月第4水曜に定例会を行っています。いろいろなタイプの紙ヒコーキの研究をしたり、新作の考案をしています。イベントや小学校、地区公民館などに参加して、地域の子もたちに紙ヒコーキの作り方や飛ばし方を教えています。

今の悩みは、新型コロナウイルスによってほとんどのイベントが中止や延期になり、活動の場が無くなったことや、メンバーが増えないことです。たくさんの子もたちに紙ヒコーキの楽しさを知ってもらうために、指導者の育成にも力を入れ、メンバーを増やしていきたいそうです。

随時、会員募集中ですので、興味のある方はご連絡ください。



【上尾紙ヒコーキクラブのメンバー】

『紙ヒコーキ作り教室』を開催しました。

9月5日に市民活動体験教室「はじめの一步」として、開催しました。当日は小学生からシニア世代までの10人が参加し、会員の平井さん、松本さんが講師になり、紙ヒコーキ作りに挑戦しました。今回、「ヘソ」「ツバメ」「ジェット」の4種類を作りました。参加者からは「楽しかった」「たくさんの種類があることを知りました」「優しく教えてくれた」等、好評でした。

会場の都合上、その場で飛ばすことはできませんでしたが、「帰ったら飛ばそう」と皆さん張り切っていました。



【紙ヒコーキ作り教室】



【イベントにて】



【当日作成した紙ヒコーキ】

市民活動体験教室 「はじめの一步」

～シトラスリボンを作ろう～



みんなで広めよう、シトラスリボンプロジェクト。1面でも掲載していますが、新型コロナウイルスによる差別や偏見をなくしていきたいというプロジェクトです。考え方やシトラスリボンの作り方を学んで一緒に応援しませんか？

日時：11月28日(土)10時～11時30分
 場所：市民活動支援センター会議室
 対象：どなたでもOK
 定員：10名(先着順) 参加費：無料
 講師：あげおハートフルプロジェクト
 ハッピーアイランド
 申込・問合せ：市民活動支援センターへ

市民活動体験教室 「はじめの一步」

～紙ヒコーキ作り教室～



紙ヒコーキの作り方・飛ばし方を学び、昔懐かしい紙ヒコーキの面白さや楽しさを再び思い出してみませんか？

9月5日に実施した教室が大好評だったため、再度開催します。

日時：令和3年2月6日(土)10時～11時30分
 場所：市民活動支援センター会議室
 対象：どなたでもOK (お子様同伴も可)
 定員：10名 (先着順)
 材料費：30円 (当日集金)
 講師：上尾紙ヒコーキクラブ指導者
 申込・問合せ：市民活動支援センターへ

イベント・ボランティア掲示板

※掲載中のイベントは中止になることがあります。事前にお問い合わせください。

■原市沼のジュズダマ差上げます■

原市沼の蓮池では、ハトムギ科のジュズダマがたくさん実ってきました。ジュズダマは、お手玉やミサンガ、首飾りなどに使えます。

採取もできますので、関心のある方は是非お越しください。

期間：10月18日(日)～10月25日(日)

時間：9時～12時(開錠しています)

場所：原市沼の蓮池(ニューシャトル沼南駅付近)

問合せ：原市沼を愛する会

☎ 048-774-8094(飯坂さん)

✉ iizakayj@sirius.ocn.ne.jp



■放課後子供教室スタッフ募集■

10月から放課後子供教室が始まりました。子供たちの見守りや、出席確認、保護者への引き渡しなどの有償ボランティアを募集しています。関心のある方は生涯学習課まで連絡ください。※週2回・主に火曜日と木曜日

場所：大石公民館・原市公民館

時間：13時30分～17時30分(4時間程度)

謝礼：740円/時間(交通費・税込)

募集人数：各教室5名程度

問合せ：上尾市教育委員会 生涯学習課

☎ 048-775-9490

市民活動相談会

こんな時だからこそ何かに挑戦しませんか!? あなたの想いをカタチにするお手伝いをします。何でもご相談ください!

地域に関わることや、何か出来ることないか? など、なんでもOK! 個別で対応いたします。まずは、ご予約ください!! ※事前予約制

日時：令和3年1月15日(金)・16日(土)
各日10時～18時(受付は17時まで)

場所：市民活動支援センター 交流サロン

問合せ・申込：市民活動支援センター

※広報あげお1月号にも掲載します。



■親子で一緒にいけばな教室■

日本の伝統文化を「体験」を通じて学んでいただくために、文化庁が実施する事業です。

日時：10/17～12/26(11/21は除く)

毎週土曜日 10時～12時

※参加の回数は自由です。

場所：上尾公民館503(申込が必要です)

料金：1回1000円(花代)当日集金

持物：エプロン、タオル、持ち帰り用の袋

※ハサミ、剣山、器は用意しています

1/3～4、丸広百貨店で発表会をします(予定)

申込：華道・古流松東会(上尾市いけばな協会)

よしのさん ☎ 090-1612-9264

✉ y5307775a2000@yahoo.co.jp

◆ 編集後記 ◆ 秋の味覚と言えば、サンマを思い浮かべますが、ここ数年、サンマがまったく獲れないと問題視されているそうです。地球環境の変化によって、様々な資源が失われてしまうことが懸念されています。サンマだけではなく、多くの食材が食べられなくなる恐れがあるのです。人類が今の環境を改善し持続するために、SDGsや3Rの必要性をひしひしと感じています。(雪・明・隆)

皆さまからのイベント、ボランティア情報をお待ちしています!

◎編集・発行 上尾市市民活動支援センター



開館日：火～日 午前9時～午後9時(日曜は午後5時迄)

休館日：毎週月曜、火～金の祝日、年末年始

電話：048-778-1810 ファクス：048-778-1820

Eメール：s53500@city.ageo.lg.jp

ホームページ：www.city.ageo.lg.jp/soshiki/s53500/

Twitter：@Ageo_shiminkatu



第3次上尾市市民活動推進計画

検索

TwitterのQRコードです。
是非、アクセスしてください!

情報紙タイトル“むすびん”は、「結ぶ」と「お便り」を合わせており、人、市民活動団体、市などを結びつけたいという思いを込めています。

